



かけはし

発行日：2012年7月1日 第21号

発行：国立病院機構



災害医療センター
地域医療連携室

発行責任者：院長 高里良男



国分寺市医師会 と 災害医療センター 医療機能連携の会 を開催しました



顔の見える医療連携の重要性

国分寺市医師会 副会長 藤巻 正樹

去る5月17日、災害医療センターと国分寺市医師会による医療機能連携の会が開催されました。両者によるこのような会は初めてであり、これまでの他の病院との連携の会とは異なり、当医師会と単独に行って頂けました。国分寺市医師会会員が連携医となる契約は、災害医療センターが設立された平成7年に締結され、その際に25名が連携医として登録され今日に至っています。この度、新たに連携医の再編をして頂けるとのことで大変喜んでいました。

今回の連携の会には当医師会より10名余りが、災害医療センターから医長以上および連携関連職員の方々が出席され、地域医療連携室長である佐藤康弘副院長による司会で和やかに進行しました。自己紹介では、災害医療センターは地域医療の最後の砦であり今後も変わらずお願いしたい、翌日診て頂きたい患者さんをスムーズに受けて頂きたいなどの要望が挙げられ、担当部門より丁寧にお答えして頂きました。開業医にとって、信頼できる病院が後方に控えていることは日常診療でとても安心できることです。

この連携の会に出席して、顔の見える医療連携の重要性を改めて感じ、連携の絆をさらに強固なものにして頂きました。今後もこのような有意義な医療機能連携の会を定期的に設けて、両者の医療連携が円滑に進んでいくことを大いに期待致します。



国分寺市医師会
藤巻正樹副会長



中島会長による挨拶



伊藤経営企画室長による
連携についての説明



意見交換会の様子



顔の見える連携を
とることができました



看護の日

災害医療センターが街へ出た！

フローレンス・ナイチンゲールの生誕日、5月12日を「看護の日」と定め、生誕日を含む1週間を「看護週間」と定めています。

今年の看護の日は「つながれ 広がれ 地域の和 ～健康・防災・看護の心～」というテーマで5月9日(水)伊勢丹立川店様ご協力のもと実施いたしました。伊勢丹立川店様の協賛開催は今年で3回目となります。

イベント内容は、健康・防災セミナー「心筋梗塞と狭心症」を循環器科桜井馨医長より、CPR&AED・災害対策・骨折予防・メタボリック対策を担当部署看護師より行いました。また、各種測定(骨密度・体脂肪・血圧・身長・体重)、ナースキティとの記念撮影・非常食の試食や防災グッズの紹介と多岐にわたり、多くの方が買い物の足を止めて熱心に聞いて下さっていました。

当日は曇り空の天気でしたが雨が降ることは無く、延べ約1300人の地域の皆様に参加をいただきました。参加者の中には、昨年に引き続き2回目の参加という方や、災害医療センターが病院内の診療だけでなく、地域でも活動をしている事を知り、「またやって欲しい」と喜ばれる方や、「普段健康だけど、今回のイベントでさらに健康管理の大切さを知った」という方も多くいらっしゃいました。看護の日担当スタッフからは、「地域の方々とふれあう良い機会となりました。」「地域の皆さんが健康・防災に関心があることを知り、有意義なイベントでした」という意見が聞かれました。

これからも地域に根ざした、安全で質の高い医療、看護を提供する病院であり続けるよう、さらに努力していきたいと思っております。



波山和美看護師長

看護の日

つながれ 広がれ 地域の和
健康・防災・看護の心

日程 2012年5月9日(水)10時～17時
 場所 伊勢丹立川店 2階キッズ・スクエア
 内容 ①講座(骨長・骨質・血圧・体脂肪・体組成)
 ②体験セミナー(災害対策セミナー)
 ③自家ももてナースキティと記念撮影

主催 伊勢丹立川店 協賛 災害医療センター / 会場 伊勢丹立川店



循環器科桜井医長によるセミナー



各種測定には行列ができました



ナースキティと記念写真



誘い合わせて参加していただきました

近隣医療機関紹介

くにたち南口診療所

住所: 東京都国立市中1-16-25
シャントクインテス国立ビル1階 TEL042-577-8953

診療科: 内科／小児科／外科／消化器科／肛門科／
泌尿器科(尿失禁外来)／整形外科／リウマチ科

災害医療センターの先生方・職員の皆様には、日頃お世話になり感謝いたします。

小生、10年前、消化器外科医として30年以上勤めた公立昭和病院を定年退職し、東大第3外科の先輩の後を継ぎ、当診療所にまいりました。地元の人々に、ライセンスを少しでも還元できたらと、プライマリーケアを指針としております。

病児保育室・デイケアを併設しており、幼少児から高齢者まで対応しております。幸い国立市の小児科医会に参加させていただき、色々教えていただき、又この10年間に各分野の診療ガイドラインができたり、種々の講演会があったりで、知識吸収に大助かりであります。

前病院に勤めていたときから、地域住民の人達に目を向けた医療連携は診療上重要なことと考え、実行してきました。当地においても各病院の先生方や医師会の先生方と接点をもつように努めており、いろいろご面倒をおかけし、お世話になり、有難く存じます。

診療は「利用者にプラスワン(1)の満足を」をモットーに、一般診療と消化器X線及び内視鏡検査を始め、胸部X線、心電図、エコー、スパイロメリー等を用いた検査、外来小手術、定期往診等を行っております。

災害医療センターと当診療所は少し距離がありますが、地域医療充実のため、逆紹介も喜んでお受けします。

どうぞこれからもよろしく願いいたします。



浅倉禮治院長



待合室



受付



JR中央線国立駅より徒歩3分
※国立駅の駅MAPに記載しております。
所在地確認にご利用ください。



クリニック外観



処置室

診療科・部署案内コーナー

放射線治療

放射線治療部門では、2011年度約300名の方へ放射線治療を行いました。その中には高精度放射線治療と呼ばれるものが含まれます。例えば副作用を劇的に軽減できる前立腺癌に対する強度変調放射線治療(IMRT: Intensity modulated radiotherapy)、ピンポイント照射と呼ばれる脳転移に対する定位放射線手術(SRS: Stereotactic radiosurgery)、早期原発性肺癌に対する定位放射線治療(SRT: Stereotactic radiotherapy)があります。これらは最新の技術を集結した治療法であり、どこの施設でも可能な治療ではありません。また、他科との協力のもと、肺癌、食道癌、膵癌などには化学療法、手術を併用した集学的治療が積極的に行われています。



福田 一郎
放射線科医長



放射線治療部門スタッフ

一方、今も変わらず放射線治療をうける方の約7割は、緩和的照射となります。骨転移による痛みの軽減、骨折の予防などは放射線治療の最も得意としているところです。また、骨転移による疼痛緩和のために、ストロンチウム89による内照射も行えます。治癒させることはできませんが、日常生活の質を改善させることができます。ご希望の方がおりましたら、ぜひご紹介ください。

外部照射用機器1台のみしか保有しておりませんが、限られた医療資源を最大限に利用し、緩和治療を含めたがん治療に貢献できればと考えております。当科の花である放射線治療専従看護師を中心とし、すべてのスタッフで最高のおもてなしを実現していきたいと思っております。

市民公開講座のお知らせ

いずれの講座も参加費無料

第17回

先生のための心肺蘇生&AED



日時：平成24年 8月 7日(火) 9:30~13:00

場所：災害医療センター
地域医療研修センター(4階研修室)

対象者：小・中・高校教職員

定員：40名(先着申込順)

※当日、人工呼吸ポケットマスク(2,000円)の購入をお願いします。



第18回



胃がんの治療

日時：平成24年 9月 29日(土) 14:00~16:00

場所：災害医療センター
地域医療研修センター(4階研修室)

定員：200名(先着申込順)



講演内容：

胃がんの治療法について「内視鏡的治療」「外科的治療」「抗がん剤治療」を、当院の消化器科と消化器乳癌外科の医師が分かりやすくお話しいたします。また早期発見のための新しい検査方法についてもお話しをいたします。多数ご参加下さい。



北多摩西部保健医療圏糖尿病教室

知ってトクする糖尿病

日時：平成24年 7月 14日(土) 14:00~16:30

場所：国家公務員共済組合連合会 立川病院

定員：180名(先着申込順)

※お申込先と会場が異なりますので、ご注意ください。

主催：北多摩西部保健医療圏糖尿病医療連携推進協議会



医療連携ニュース「かけはし」へのご意見ご感想をお待ちしております。ご連絡は地域医療連携室まで。

【地域医療連携室直通】担当：樋口早智子(ひぐちさちこ)

TEL:042-526-5613 FAX:042-526-5547

Eメール renkei@tdmc.hosp.go.jp

